

海外経済

		2月	3月
世界経済		<p>世界の景気は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復している。 先行きについては、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、アメリカの金融緩和縮小による影響、中国やその他新興国経済の先行き等について不確実性がみられる。</p>	<p>世界の景気は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復している。 先行きについては、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、アメリカの金融緩和縮小による影響、中国やその他新興国経済の先行き等について不確実性がみられる。また、地政学的リスクの高まりに留意する必要がある。</p>
アメリカ		<p>アメリカでは、景気は緩やかに回復している。 先行きについては、緩やかな回復が続くと見込まれる。ただし、雇用動向等に不透明感があるなか、金融緩和の縮小による影響等に留意する必要がある。</p>	<p>アメリカでは、景気はこのところ一部に弱めの動きもみられるが、緩やかに回復している。 先行きについては、緩やかな回復傾向が続くと見込まれる。ただし、雇用動向等に不透明感があるなか、金融緩和の縮小による影響等に留意する必要がある。</p>
アジア地域	中国	<p>中国では、景気は一部に弱めの動きもみられるが、緩やかに拡大している。 先行きについては、緩やかな拡大傾向が続くと見込まれる。ただし、輸出や金融市場の動向等によっては、景気が下振れするリスクがある。</p>	<p>中国では、景気は緩やかに拡大しているが、このところ弱い動きもみられる。 先行きについては、緩やかな拡大傾向が続くと期待される。ただし、輸出や金融市場の動向等によっては、景気が下振れするリスクがある。</p>
	韓国、台湾	<p>韓国、台湾では、景気は持ち直している。先行きについては、持ち直し傾向が続くと見込まれる。また、輸出の動向に留意する必要がある。</p>	<p>(変更なし)</p>
	インド	<p>インドでは、景気は下げ止まりの兆しがみられる。先行きについては、当面、低めの成長にとどまることが見込まれる。また、物価の動向を含め、通貨安の影響等に留意する必要がある。</p>	<p>インドでは、景気は底ばい状態となっている。先行きについては、当面、低めの成長にとどまることが見込まれる。また、物価の動向を含め、通貨安の影響等に留意する必要がある。</p>
ヨーロッパ地域		<p>ヨーロッパ地域では、景気は持ち直しの動きがみられる。英国では、緩やかに回復している。 先行きについては、次第に持ち直しに向かうことが期待される。ただし、政府債務問題等への対応やその影響、失業率が高水準であること等に留意する必要がある。</p>	<p>(変更なし)</p>